

令和6年1月 名取市男女共同参画情報紙

ハ ン ド ・ イ ン ・ ハ ン ド

21 プラス

第21号

Topics
12

Hand in Hand 21 +

■この情報記事の内容

(1) “おとな”と”こども”が”一緒に考える【男女共同参画社会】 (2) 名取市の男女共同参画への取り組み
※お子さんの学校の様子や将来の夢についてお話ししながら、記事を読んでみてください。

(1) “おとな”と“こども”が一緒に考える【男女共同参画社会】

「虫や車に詳しくて、黒色が一番好き」
「将来は保育士さんか花屋さんになりたい」
…好きな色や得意なこと、将来の夢などは、「男だから、女だから」という性別に関係なく、人それぞれです。

「男だから、女だから」ではなく、ひとりひとりが自分の個性や能力を発揮して、協力しあうことを『男女共同参画』といいます。

自分らしい生き方ができる『男女共同参画社会』について、考えてみましょう。

【男女共同参画】はどうして必要なの？



保育所や幼稚園の先生は、男性と女性、どちらが多かったでしょうか？

消防士さん、バスの運転手さんと聞いて、男女
どちらの姿でイメージしますか？

今の大人が子どもの頃は、男の人がやる仕事、女の人がやる仕事というように、性別で仕事がわかれていると思っている人がたくさんいました。

仕事だけでなく、家や学校で「男だから、女だから／できる、できない」と思われていたことはたくさんあります。

料理や掃除、食器洗いや赤ちゃんのお世話、お客さんが来たらお茶を出すこと。

重いものを運ぶ、危ない作業をする、みんなのリーダーになること。

性別と役割は関係ないことですが、一部では「男は外で仕事、女は家事と育児」と役割を分けて考えている人もいます。

それぞれの個性や能力で、働き方や生き方を考えられるように【男女共同参画】の考え方を、たくさんの人に知ってもらう必要があります。

ランドセルはどんな色？

昔は、女の子は赤色、男の子は黒色のランドセルを使っていました。
今はさまざまな色のランドセルが“あたりまえ”になり、『女の子は赤
色／男の子は黒色』という声は、“あたりまえ”ではなくなりました。

ひとりひとりの『こうしたい!』『それって本当にあたりまえなの?』という意見が、『こうあるべき!』という全体の意識を変えていくことになります。



あなたのジェンダー意識チェック

あなたの考えに合っていると思うものすべてに、チェックマーク✔を入れてください。

- ☐ 女の子は優しく、男の子は元気に！というのは、変だと思う
- ☐ 乱暴な言葉づかいや行動は、女の子も男の子も気をつけるべきだと思う
- ☐ 手芸や料理が得意な男の子もいるし、サッカーや野球をする女の子もいると思う
- ☐ 料理や洗濯などの家事は、家族みんなができた方が良くと思う
- ☐ 友だちとは、性別問わず平等に意見を言い合える関係が良いと思う
- ※ チェックの数が多いほど、性別にこだわらず考えている状態といえます。



【ワークシート】あなたの家ではだれがしていますか？

家の中の仕事	いつもしている人	時々している人
食事の準備・料理		
食後の片付けや食器洗い		
トイレ・お風呂そうじ		
部屋のそうじ		
食料や日用品の買い出し		
洗たく		
ゴミ出し		

生活の中には、さまざまな仕事があります。上の表の仕事は、その一部です。
かつては「男性が外の仕事、女性が家の中の仕事」としている家庭が多かった
のですが、最近では男女関係なく、外で働いている人が増えてきました。
家の中はどうでしょうか？

毎日の生活では、協力しあうことが大切です。誰かに負担が偏っていないか、自分のできることを考えながら、家の中の仕事について家族で話し合ってみましょう。



こどもと関わる“おとな”のみなさまへ

『男性は仕事、女性は家事や育児』という、依然として“性別で役割を決める考え方”が残る社会で、こどもたちは成長していきます。

この性別役割分担の考え方は、子どもひとりひとりが持つ可能性や選択の幅を狭めてしまったり、能力を発揮する機会が与えられなかったりすることにつながります。

男女共同参画社会は、誰もが平等に学んだり働いたりするチャンスが与えられ、対等な立場で責任も分かち合える社会のことです。

このような社会を実現するためには、まずは“おとな”が『男だから、女だから』という枠にあてはめてしまうことのないよう意識を変えていかななくてはなりません。

この記事が、男女共同参画を考えるきっかけとなれば幸いです。



(p 20～21に続きます)

(2) 名取市の男女共同参画への取り組み

令和5年度 市の男女共同参画に係る主な事業一覧(市民協働課 実施分)

女性活躍支援関係

① 女性活躍支援事業

◇セミナー

- (1)「ライフステージにあった働き方を考える キャリアステップセミナー」
- (2)「育児・介護・仕事を両立するために ワーク・ライフ・バランスセミナー」
- (3)「好きなことを仕事にするために 女性のための起業・副業セミナー」

◇各種専門相談窓口の設置(キャリア相談・多様な働き方・起業・副業) ◇事業アンケート調査



↑セミナー受講の際、希望者は託児を利用可能。受講者からは「毎日、1日中、一生懸命子どもの相手をしてるだけで時間が過ぎていく。久々に自分のことを振り返り、誰かと話すことができた」との声もありました。

② マザーズハローワーク青葉との共催事業

◇セミナー・グループワーク 「働き始めたい！～就職への準備から活動の進め方について～」

◇就業に関する定期相談会(下増田児童センター、名取市地域職業相談室)



↑下増田児童センターで開催したセミナー

↑名取市地域職業相談室の様子。相談日は子ども同伴で相談可能。

③ きらめく！名取の人と人～私らしく、あなたらしく実行委員会と下増田児童センターの共催事業

『しもフェス×マルシェ』(地域マルシェ・多世代参加型の音楽イベント)

④ [NPO法人 女性起業相談室STEPなとり]の協力により、マルシェ内に市内女性起業家ブースを設置



↑きらめく！名取の人と人～私らしく、あなたらしく実行委員は、マルシェ会場スタンブラリーや各種販売ブースでのお買い物クイズ、男女共同参画関連パネル展、家事見える化シートでのワークショップなどを担当しました。

男女共同参画関係全般

⑤ 性的マイノリティ(LGBTQ+)への理解促進活動

◇市内施設や学校での巡回パネル展 ◇性的マイノリティに関する市民アンケート

◇職員用LGBTQ+対応ヒント集による新規採用職員研修



↑人権啓発イベントとあわせて、市内商業施設で開催した性的マイノリティへの理解促進パネル展

性的マイノリティに関するアンケート
(設問数は10問で、所要時間は1分程度です)

※本アンケートは、多様な性の方を招き入れるための意識向上と理解促進を目的として、匿名で実施されています。その一環として、このアンケートの結果は市の広報誌に掲載し、今後の施策の参考にさせていただきます。回答いただいた方には、お礼の品を差し上げます。

1.性別	□ 男性	□ 20代-29歳	□ 30代-39歳	□ 40代-49歳	□ 50代-59歳	□ 60歳以上
2.職業	□ 自営業・専業主婦・専業主夫	□ 会社員・公務員	□ 学生	□ 無職	□ その他	
3.住居のタイプ	□ 単独住居	□ 共同住居	□ 賃貸物件	□ 持ち家	□ その他	
4.身近な人(家族、友人、知人など)の性傾向	□ 男性	□ 女性	□ 両方	□ わからない	□ その他	
5.身近な人(家族、友人、知人など)の性傾向	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある
6.身近な人(家族、友人、知人など)の性傾向	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある
7.身近な人(家族、友人、知人など)の性傾向	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある
8.身近な人(家族、友人、知人など)の性傾向	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある
9.身近な人(家族、友人、知人など)の性傾向	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある
10.身近な人(家族、友人、知人など)の性傾向	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある	□ ある

↑パネル展会場では、性的マイノリティ関連アンケートを実施。(この情報紙の最終ページでも、同内容のオンラインアンケートを二次元コードで掲載)
※アンケート回答数(令和5年6月～11月末):278件

⑥ 仙台高等専門学校との共催事業

◇小中学生向けものづくり公開講座(理系人材育成関連)

◇仙台高等専門学校祭の男女共同参画パネル展



←男女の性別を問わず、次世代の理工系分野の裾野を広げる取組として、仙台高等専門学校 名取キャンパス様のご協力のもと、3Dプリンターを活用したものづくり公開講座を開催。市内小中学生を対象に募集したところ、定員をはるかに超える応募があり、受講した子どもたちから「難しいけれど、イメージがわいてくるのがわくわくする」「どんなことができるか、もっといろいろ試してみたい」という声があがりました。作成したデータをもとに3Dプリントされた作品は、後日、修了証書とともに子どもたちに渡されました。

その他...

⑦ 男女共同参画ワークショップ「家事見える化シート」

⑧ みやぎの女性つながりサポート型支援事業広報活動

⑨ 男女共同参画週間啓発活動

⑩ 女性のための防災BOOKパネル展

⑪ 女性に対する暴力をなくす運動啓発活動

⑫ 事業者向けワーク・ライフ・バランス講話 ...など。

※ジェンダーの課題や多様な性への配慮については、市内の教育現場でも制服デザインや男女別色分けジャージの見直しなどの取り組みが進められているところではあります。

この情報紙は2004年から発行されています。バックナンバーは右記の二次元コードから！



性的マイノリティに関するアンケート実施中！
右記の二次元コードよりご協力ください。
※所要時間は1分程度です。



編集・発行 / 名取市男女共同参画推進委員会
お問合せ先(事務局) / 名取市企画部市民協働課 ☎724-7146 ✉kyodo@city.natori.miyagi.jp